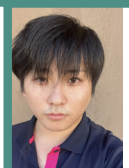
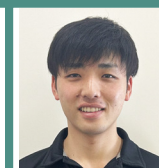
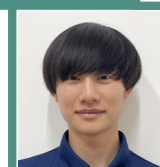


3 月中旬～ 6 月上旬の各地区の活動

地区	活動内容	地区	活動内容
世田米	4 月 総会	大股	3 月 買い物ツアー、総会
	5 月 委員会議		4 月 買い物ツアー★
	6 月 挨拶・声かけ運動、のぼり旗の設置 花壇の花植え & BBQ 交流会★		5 月 買い物ツアー 春の演芸会★
下有住	3 月 役員会		6 月 公民館前 花壇の花植え 買い物ツアー
	4 月 青空総会、松日橋・桜団地お花見会★ 外館城跡いこいの森お花見会	五葉	3 月 春を呼ぶ文化祭★
	5 月 下有住学 まち歩きツアー（月山・外館編）★		4 月 役員会・総会 みんなの食堂 お花見会
	6 月 劇団チュチュ公演		5 月 役員会
上有住	3 月 役員会		6 月 梅の木植樹地の草刈り★
	4 月 総会・役員会、春の八日町市日★	★：ニュース内に記事があります	
	6 月 チャレンジ部会 民俗資料館前 花壇整備★		

研修に参加する若手職員の紹介

①所属課 ②出身地 ③担当地区 ④一言コメント

 さとう かい 佐藤 快 ①教育委員会 ②住田町 ③世田米地区 ④世田米地区出身です。今までも地域行事には参加していましたが、地域の皆さんと交流を深められるように、より積極的に参加していきたいと思っています。よろしくお願いします。	 いせ あやと 伊勢 彩人 ①住民税務課 ②大船渡市 ③大股地区 ④私自身、大船渡市出身ということもあり、住田町、各地区についてまだまだ分からない事が沢山あるので、今回大股地区の皆さんと様々な経験をし、沢山学んでいきたいとおもいます。よろしくお願いします。	 にいぬましん 新沼 紳 ①保健福祉課 ②大船渡市 ③下有住地区 ④この研修を通して、住田町や担当地区の魅力や課題について、理解を深め、多くの方々との交流を大切に、新たなつながりや学びから今後の地域づくりや仕事に生かしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。	 おばら あゆと 小原 歩斗 ①農林商工課 ②奥州市 ③下有住地区 ④奥州市出身ということもあり、住田町、下有住地区についてわからないことが多いので下有住地区の皆様との活動を通じて住田町、下有住地区の魅力を学びたいと思います。よろしくお願いします。
 あずま かずと 東 和人 ①農林商工課 ②大船渡市 ③上有住地区 ④大船渡市立根町出身です。先日は八日町市日に参加させていただき、ありがとうございました。今後も上有住地区の一助として色々な経験をさせていただきたいと思っていますのでよろしくお願いします！	 かしわぎ ひでゆき 柏崎 秀行 ①建設課 ②住田町 ③上有住地区 ④住田町出身ですが、わからないことが多くあるのでたくさんの人とふれあいながら上有住地区の魅力を発信していきたいと思っています。よろしくお願いします。	 こん たいせい 金 大成 ①農林商工課 ②矢巾町 ③五葉地区 ④町外出身ということもあり住田町についてわからないことばかりです。五葉地区の美しい自然を通して地域の方々と交流を深める機会とさせていただければと考えています。鳥獣対策は専門分野です！	



「小さな拠点づくり」5 地区の活動を伝える

五つ星 ニュース

第 14 号



民俗資料館前のコキア（絵）木村直紀

10 年目を迎えた小さな拠点づくり

住田町が進めている「小さな拠点づくり」事業は、今年で 10 年目を迎えました。町内 5 地区にそれぞれ地域協働組織を置いて、地域の個性にあった独自の活動が続けられています。

スタートした当初は、それまでの地域活動を継承しながらも、どんな活動を展開していくか手探りだったところもあったと思います。10 年経った今、地域協働組織の活動は自分たちの事業であることが理解されつつあり、地域を思う多くの方々が参加しており、活動が増えている地区もあります。

イベントや行事では、70 代、80 代も活動に参加していたり、中高生もボランティアに参加したりと、それぞれの世代が得意とすることを活かしながら活動を支えています。また率先して活動に協力してくれる

方々も増えています。

人口減少のなか「地域活動の担い手不足」を言われがちですが、楽しみながら参加する人、ちょっとだけでも手伝える人など、負担にならない範囲で活動する輪が広がっているように思います。



下有住地区で行われた「おたのしみ夕涼み会」（2025 年）では、中学生が運営ボランティアに参加しました。

各地区の活動

世田米いきいきづくり

◆花壇の花植え&BBQ 交流会

ふれあい広場・河川公園で、6月13日、木製のプランターに花を植える作業を行いました。春に咲いたチューリップの球根を掘り起こした後、3色のマリーゴールドを植えました。

作業後はバーベキュー交流会が開かれ、地元の気仙川で釣れたヤマメを味わいながら、地区民同士の会話が弾みました。また、今年は親子の参加が増え、世代を超えたふれあいの時間になりました。



たくさんの子供達も花植え作業に参加しました



子供たちの楽しそうな声が響いたバーベキュー

スマイル大股

◆買い物ツアーにすみた荘が協力

今年で9年目の「買い物ツアー」が、社会福祉法人鳴瀬会すみた荘からワンボックス車両を借りて新たな一步を踏み出しました。初回の4月22日は遠野市方面へ向かい、ゆったり荷物が積める車内で買い物を楽しみました。

今回の取り組みは、町内の関係団体等が集まって移動支援の検討を続け、地域の暮らしを支える温かい連携に結びついたものです。



すみた荘の協力で借りることになった車両

◆春の演芸会

5月24日、春の演芸会が開催され、大股地区内外から126名が来場しました。舞台では、歌手の福田こうへいさんの母・福田キヌエさんと菊池きよ子さんが華やかな歌謡を披露したほか、奥州市で活躍する歌手・佐藤文司さんと高橋栄子さんが美しい歌声を響かせました。

岩手が誇る名曲「南部蝉しぐれ」や馴染み深い民謡などが次々と繰り出され、会場は終始大きな拍手と熱気に包まれました。



奥州市出身の民謡歌手・佐藤文司さんと、福田こうへいさんの母・キヌエさんが共演した「南部蝉しぐれ」

下有住いきいき活動協議会

◆松日橋桜団地で青空総会

恒例になっている「青空総会」が、4月19日、松日橋の桜団地で開催されました。総会では例年通りの行事案のほか、下有住学でのツアーなどの新たな事業計画が提案され、参加者からは視察活動などへの期待の声が寄せられました。

終了後は満開の桜の下でバーベキューが行われ、爽や

かな川風の中で住民同士が交流を深めました。



総会終了後は、バーベキューを楽しみました

◆下有住学

大切な場所をめぐるツアー（月山・外館編）

昨年からはまった下有住学の成果を元に、5月31日、「私たちの大切な場所」を巡るツアーが開催されました。子供から年配の方まで28名が参加し、早稲田大学の学生も同行。住民が守ってきた神社仏閣や城跡を回り、住民自らがガイド役になりました。

参加者からは「下有住の歴史について大変勉強になった」

「地域の力を痛感した」などの声が上がりました。火の土・新切編も実施する予定です。



地元の人がガイドする馬頭観音（外館地区内）

五葉地域づくり委員会

◆梅の木植樹地の草刈り

遊休農地を活用して梅の苗木を栽培している畑地で、6月7日に恒例の草刈りを実施しました。

今年は自治公民館の清掃活動と合同で行ったため、例年を上回る約40名が参加しました。作業は手際よく進み、いつもより早くきれいに整備されました。

たくさんの実をつけるよう、皆が期待しています。



里山に草刈機の音が響きわたりました

◆春を呼ぶ文化祭

「文化祭をやらないと五葉には春が来ない」と言われるほど、恒例となった文化祭が、3月22日に開催されました。地区民が制作した各種作品の展示のほか、東海新報社の鈴木英里社長による講演が行われました。講演では地域の絆の強さが讃えられました。

後半には、昨年からは検討が続く住民主体の移動支援についての意見交換も実施され、「お試しツアー」への期待が高まりました。

手際の良い準備と撤収の作業が進められました。



旬の山菜など住田の特産品が並びました

◆民俗資料館前の環境整備

6月6日、民俗資料館前の環境整備が行われました。役員の方々が事前に土づくりをした花壇へ、参加した10人がコキアの苗15本を植樹。秋の紅葉に期待を寄せました。

また、イルミネーション用の木の枝払いも実施し、樹形がすっきり整いました。地区公民館や民俗資料館が並ぶこの空間が、地域の方々の手でさらに愛され

る場所になることが期待されます。



イルミネーションを飾る木を剪定してスッキリと



地元の強みを深めている五葉について語る東海新報社の鈴木社長



地元の方々による多く作品が並びました